

TE-S1000/W1500 シリーズ 取付マニュアル

※本品のP/N検出機能は、バッテリー交換等で本体の電源が断ち切られた場合にもデータを保持します。このためP/N検出データを設定した本品を他の車両に付け替える場合などは、一度メインユニット設定スイッチNo.2を「フットブレーキ検出」に切り替えてP/N検出データを消去した後、再度設定をし直してください。

※TE-S1000/W1500シリーズ(以下、本品という)の取付けは、必ずこの手順に従って行ってください。
 ※裏面記載の禁止事項をよくお読みになってから作業を行ってください。
 ※取付の際、車種別ピットマニュアル(取付情報)をご覧ください。詳しくは店頭の車種別ハーネス適合表または、当社ホームページ(<http://www.carmate.co.jp>)をご覧ください。(誠に勝手ながら用意が出来ていない車種もございます。また、ピットマニュアルはオプションなど全ての配線を網羅するものではありません。あらかじめご了承ください)

※本品を取付ける際は、車両部品の取外しや加工が必要になります。

※車両配線への接続を行なう際は、不意のショート等を防ぐため、車両バッテリーのマイナス端子を外した状態で行ってください。お守りいただけない場合、以下のような危険が生じる恐れがあります。

▼通電中のコードをワンタッチコネクタでカシメる際、カシメ工具(プライヤーなど)の金属部が車両ボディ(アース)に接触するとショートする恐れがあります。

▼各コネクタを差し込む際にドライバーなどの金属物で押し込んだ場合、コネクタの端子間でショートする恐れがあります。

※余った配線類は、ショート等を防ぐために確実に絶縁処理を行ってください。また、ワンタッチコネクタやハーネスなどの接続部分には必ず絶縁テープを巻いてください。

参考 ワンタッチコネクタの使い方

- ① 本品のコードを入れる
- ② 車体側の接続コードを通す
- ③ 仮止めする
- ④ プライヤー等で金具を押し込む
- ⑤ カバーをして、絶縁テープを巻く

1 メインユニットの取付け位置を仮決める (この時点では車両への固定は行なわないでください)
 アンダーダッシュを外し、車両に合ったおおよかな取付け位置を決めておきます。運転操作の妨げにならないよう注意してください。

取付場所のポイント

- 固定がしっかりできること
- 設定スイッチが切替えやすいこと
- メインユニットのアンテナ部分先端が車両の金属部分(ボディ及びハーネス類など)から5cm以上離れていること

2 車種別専用ハーネス(別売)を車両に取付ける

車両のキーコネクタを抜き、その間に車種別専用ハーネスを接続します。

注意 車種別専用ハーネスの接続位置は「キーシリンダー裏」もしくは「キーシリンダー裏から出ているコードにつながっているコネクタ」(ヒューズボックスなど)です。それ以外の場所に接続すると車両故障の原因となりますのでご注意ください。

注意 コネクタはしっかり奥まで差し込んでください。差し込みが浅い場合、車両故障や動作不良の原因となります。また、接続部は絶縁テープで巻いてください。

参考 車種別専用ハーネスに本体を接続していない場合、キーでもエンジンを掛けることができません。

3 アースコードを車両に取付ける

車種別専用ハーネスのアースコードを、車両の金属部分を固定している塗装していないボルトに共締めします。

注意 アースが不完全であることが動作不良につながるケースが多いため、接続場所には充分注意してください。

注意 オーディオ、ナビゲーション等、他の電装品と同じ場所にアースコードを取付けしないでください。作動不良や、オーディオのメモリーが消失する場合があります。

4 イモビ付車対応アダプター(別売)をメインユニットに取付ける ※必要な車種のみ
 (純正セキュリティ対応アダプター及びレジェンド用DPSアダプターが必要な車種も、この時点で接続を行ないます。)

純正イモビライザー装着車の場合のみ、イモビ付車対応アダプター(別売)が必要です。
 イモビ付車対応アダプター(別売)の取扱説明書を参照の上取付けてください。

	メインユニット設定スイッチ No.7(OP端子出力)
TE412/416/421/423~426	OFF (A)
TE413/417/420/422	ON (B)

取付けるアダプターによって右表のようにメインユニット設定スイッチを切り替えます。
 ※TE417とイモビ付車対応アダプターを併用する場合は、ON(B)に設定してください。

5 車種別専用ハーネス(別売)の13Pコネクタをメインユニットに差し込む

車種別専用ハーネスの13Pコネクタをメインユニットにしっかりと差し込みます。

参考 ハーネスの長さが短く、メインユニットを①で仮決めした位置に収納できない場合は、別売のTE201「延長ハーネス50」を使用してハーネスを50cm伸ばすことができます。

6 P/N検出が行なえるかどうか確認する

※本品のP/N検出機能は、バッテリー交換等で本体の電源が断ち切られた場合にもデータを保持します。このためP/N検出データを設定した本品を他の車両に付け替える場合などは、一度メインユニット設定スイッチNo.2を「フットブレーキ検出」に切り替えてP/N検出データを消去した後、再度設定を行なってください。

<P/N検出データの設定手順>

記号の見方

—	長い音(ビー)
●	短い音(ピッ)

⑥ P/N検出が行なえるかどうか確認する

① セレクトレバーを「P」にしてキーを抜く

② リモコンでエンジンスタート操作をする (STARTボタンを押す)

③ メインユニットから「ビー・ビー・ビー・ビー」×2回鳴る (●●●●) ×2

④ 20秒以内にキーをON(メーターパネルが点灯する位置)にする

⑤ 20秒以内にブレーキを踏みながらセレクトレバーを「R」にする

⑥ メインユニットから「ビー」と1回鳴る (—) ×1

⑦ セレクトレバーを「P」に戻してキーを抜く

⑧ P/N検出モードを切り替えても設定できない場合

⑨ P/N検出の設定ができない車です。車種別専用ハーネスの「フットブレーキ検出コード」を、「車両のフットブレーキを踏んだときに12V」かつ、「離れたときに0V」となるコード(通常はブレーキペダルの根元にあります)に、付属のワンタッチコネクタで接続します。また、フットブレーキの配線を行なった場合は、メインユニットの設定スイッチNo.2(フット/PN切替)を「フット」(OFF側)に切り替えてください。

7 メインユニットの設定スイッチを設定し、エンジンスタート機能の動作を確認する

裏面の表を参照し、メインユニット設定スイッチを設定し、下記手順に従ってエンジンスタート機能の動作確認を行なってください。

1. 車両のセレクトレバーを「Pレンジ」にして車両のキーを抜き、サイドブレーキをしっかりと掛けます。
2. リモコンでエンジンスタートの操作をします。
3. エンジンが正常に始動するか確認してください。
4. エンジンが始動しない場合は取扱説明書の「エンジンスタート機能が作動しない場合」をご参照の上、設定などを確認してください。

8 サイドブレーキ検出コードを車両に取付ける ※必要な場合のみ

車種別専用ハーネスのサイドブレーキ検出コード(橙の細コード)を、「車両のサイドブレーキ(パーキングブレーキ)を掛けたときに0V」かつ、「解除したときに12V」となるコードに市販のワンタッチコネクタで接続します。(寒冷地などで、駐車時にサイドブレーキを使用しない場合は接続する必要はありません。)

サイドブレーキ検出コードを接続した場合は、メインユニット設定スイッチNo.1「サイドブレーキ検出キャンセル」をOFF(上側)にしてください。
 ※車種別専用ハーネスにサイドブレーキ検出コードが差さっていない場合、ハーネス同梱のサイドブレーキ検出コードをハーネス付属の説明書に従って13Pコネクタの指定位置に差し込んでください。

完了

※取扱説明書を参照し、ステッカー類や付属品をセッティングします。

確認 ①

セレクトレバーは、必ずパーキング(Pレンジ)に入れてください。

確認 ②

サイドブレーキは、必ず掛けてください。

(サイド式) (フット式)

確認 ③

キーは、必ず抜いてください。

取付概要図

※本面は取付概要図です。実際の取付けにあたっては、必ず裏面の「TE-S1000/W1500シリーズ取付マニュアル」記載の内容に従って作業していただくようお願い致します。
 ※リモコン裏面の絶縁シートは、輸送時の電池消費を防ぐためのものです。必ず抜いてから使用してください。

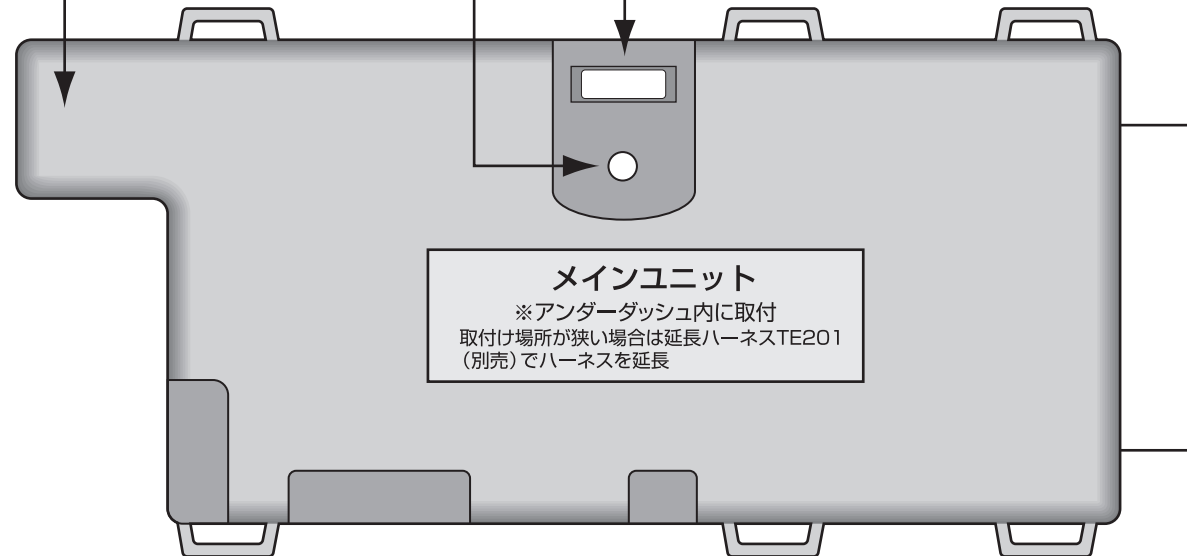
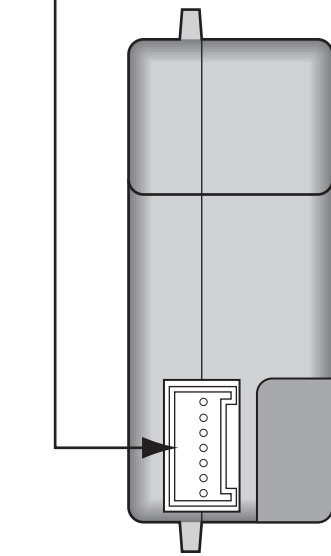
注意

アンテナ部分先端は、車両の金属部分(ボディ及びハーネス類など)から5cm以上離して、お取付けください。

エンジンスタート拡張コネクタ(6P)

ID書込インジケータ

メイン電源ヒューズ(5A)



メインユニット
 ※アンダーダッシュ内に取付
 取付け場所が狭い場合は延長ハーネスTE201(別売)でハーネスを延長

メインユニット設定スイッチ

P/N検出モードスイッチ

危険シールを貼る位置

危険シールはエンジンルーム内の目立つ場所に貼付けてください。

イモビ付車対応アダプター(別売)等の接続コード
 ※アダプターを接続した場合は、右表参照の上メインユニット設定スイッチを切り替えてください。

オプション端子(黄)

車両への配線が必要な部分

車種別専用ハーネス(別売)
 キーシリンダーにつながっている純正コネクタを一旦抜いて本ハーネスを割り込ませる

13Pコネクタ

黒: アースコード

茶(細): L端子コード

※必要な場合のみ
 (エンジンルーム内のオルタネータから出ているコードのうち、バッテリーへ行く太いコード以外で、イグニッションON時に約+2V以下の電圧で、エンジン始動後に+12Vが出るコードへ)

紫(細): フットブレーキ検出コード
 ※P/N検出の場合は不要(通常0V・踏んで12Vのコードへ)

橙(細): サイドブレーキ検出コード
 ※必要な場合のみ(掛けて0V・解除して12Vのコードへ)

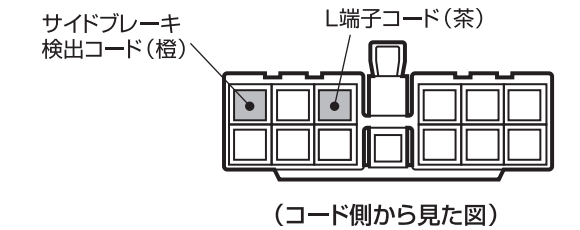
「サイドブレーキ検出コード」「フットブレーキ検出コード」「L端子コード」の配線を行う場合は、必ずメインユニット設定スイッチを設定してください(右表参照)。

のところは、工場出荷時の設定です。

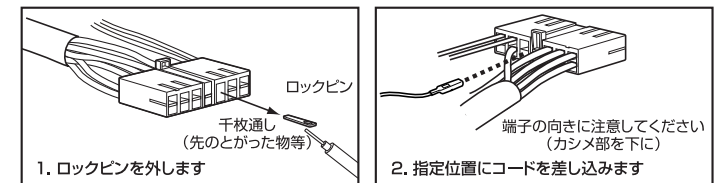
メインユニット設定スイッチ

	1	2	3	4	5	6	7	8
	サイドブレーキ検出キャンセル	フット/P/N切替	ホンダABS	L端子配線	使用しません	グロータイム	OP端子出力	ID書込
OFF	キャンセルしない	フット	非装着車	なし		8秒	A	通常
ON	キャンセルする	P/N	装着車	あり		5秒	B	書込

ハーネスの各種コード差込み場所



※コードはロックピンを一旦抜いて入れる



禁止事項

危険

マニュアル車へ取付けることは、絶対にしないでください。マニュアル車は、冬季にサイドブレーキの凍結を防ぐため、サイドブレーキを掛けずにギアを「ロー」もしくは「バック」に入れ駐車する場合があります。また、坂道などに駐車する際にもギアを「ロー」もしくは「バック」に入れます。その状態でエンジンスタートを使用すると、無人走行の原因となり、思わぬ大事故につながります。

×24V ×外車 ×キーフリー/スマートキー

●12V車専用です。トラックなどの24V車にはお取付けできません。 ●外車には取付けできません。 ●キーフリーシステム/スマートキーシステム装着車には取付けできません。(適合車種は除く)

●89年以前の車でシフトロックが装着されていない車(フットブレーキを踏まずにシフトレバーが「P」から移動できる車)には、取付けできません。

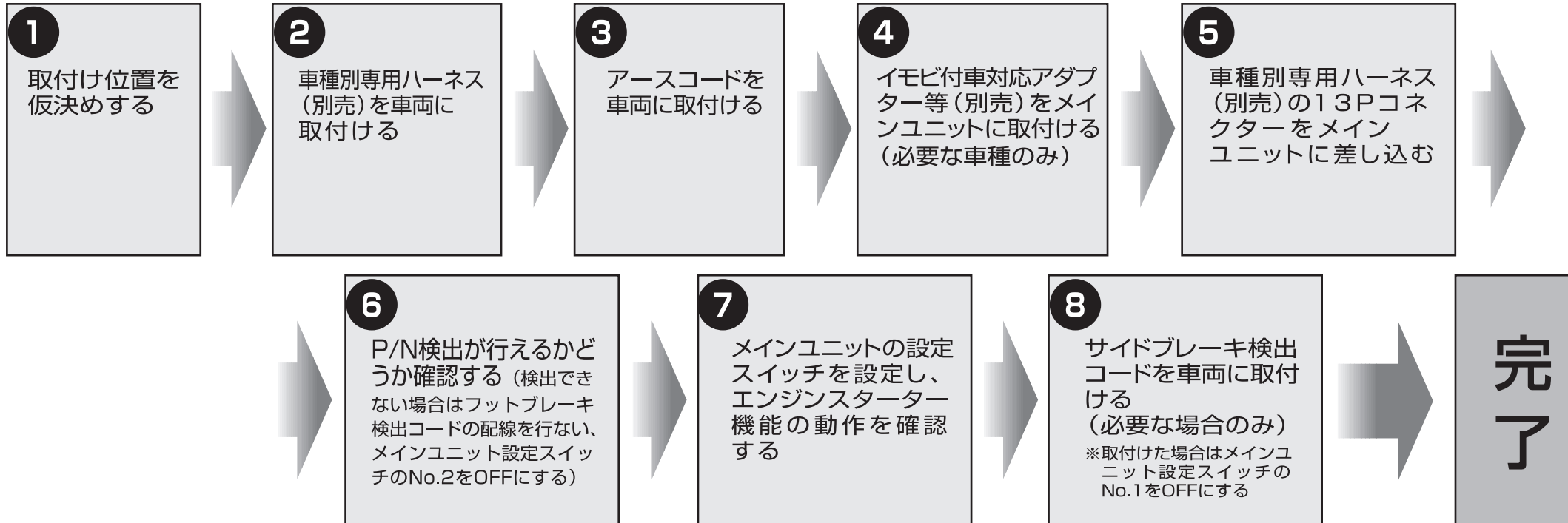
●エンジン始動時に下記のような車には、お取付けできません。



●ホンダ車の雨滴感知ワイパー装着車には、お取付けできません。取付けすると車両故障の原因となります。

取付手順

※車両への配線を行なう際は、不意のショートを防ぐためバッテリーの⊖端子を外しておいてください。
 ※余った配線類はショート等防ぐために確実に絶縁処理を行なってください。また、ワンタッチコネクタやハーネスなどの接続部分には必ず絶縁テープを巻いてください。



完了

各種アダプターを接続する場合の設定方法

	メインユニット設定スイッチ No.7 (OP端子出力)
TE412/416/421/423~426	OFF (A)
TE413/417/420/422	ON (B)

※TE417とイモビ付車対応アダプターを併用する場合は、ON(B)に設定してください。

★取付に関するお問い合わせはこちらまでどうぞ...

■サービスセンター

☎(03)5926-1216(代表)

Fax: 03-5926-1218

〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11